

千葉でフラワーフェスティバル開催 ～ 花き生産者自らも準備、運営の中心に ～

第37回千葉県フラワーフェスティバル

- 日時/1月6日(金)～9日(月)
- 場所/㈱三越伊勢丹 三越千葉店 8階催事場 (千葉県千葉市)
- 主催/千葉県フラワーフェスティバル実行委員会
(千葉県花き園芸組合連合会、千葉県、千葉市、(公社)千葉県園芸協会、(一社)千葉市園芸協会)
- 協賛/全国農業協同組合連合会千葉県本部、千葉三越
- 内容/花のコンテスト (千葉県花き共進会)、花の装飾展示、花のチャリティ販売、その他フラワーデザインコンテストなどの各種フラワーイベント



来場者を迎えるメインディスプレイ

房総の春を告げる千葉県内最大級の花のイベント「第37回千葉県フラワーフェスティバル」が開催され、会場となった千葉三越は花の一大産地を感じさせる多種多様な花で包まれ、花の香りが広がっていました。37回目となる今回は千葉三越を会場とする最後の開催となりましたが、フラワーデザインコンテストやチャリティ販売等では多くの来場者で賑わっていました。



大いに賑わう会場内の様子

多種多様な品目が勢揃い

567点の出品の中から農林水産大臣賞を選出!

共進会では県内全域から出品された567点*の色とりどりの花々が5つの部門に分けられその品質の高さなどを競いました。

第1席である農林水産大臣賞には高橋康弘氏(成田市)のシクラメン『プリティプリンセスレッド』が選ばれ、生産者自らの育種した品種の花や葉の色の美しさとともに、花数や草姿のバランスの良さ等が高く評価されました。その他、グズマニア「ミックス」やカトレア「ドラムビート」、エラチオールベゴニア「ボリアス」等が特別賞を受賞し展示されました。

* (参考) 本県の花き品評会は年3回開催で、各回100～200点程度の出品がある。



特別賞受賞品の展示

充実したフラワーイベント

4日間にわたって行われたフェスティバルでは、共進会の他に千葉県内の花を楽しむことができるイベントが数多く行われました。(具体的な内容は右表参照)

中でも「新春千葉の花巡り(会場案内ツアー)」は特徴的で、生産者自らがガイド役となり一般来場者を連れて会場内の展示された花を紹介して巡るもので、直接消費者へ花の魅力伝える貴重な機会となりました。また、「プロが教える花を楽しむ方法」でも生産者が多くの参加者に対し花を楽しむ方法について伝えていました。

さらに、「第6回千葉県高校生フラワーデザインコンテスト」では、県内の高校生が会場内でその技術を駆使して作品を仕上げ、審査員だけでなく来場者の方からも人気投票を通じて審査が行われました。農業高校だけでなく普通高校の部活動などでフラワーアレンジに取り組んでいる生徒の参加もありました。

第37回千葉県フラワーフェスティバル 各イベント

1. プロが教える花を楽しむ方法
2. 第6回千葉県高校生フラワーデザインコンテスト
3. 新春千葉の花巡り(会場案内ツアー)
4. 押し花教室(布製ブック型ボックス)
5. プリザーブドフラワー教室
6. 新春花いけ劇場
7. 花のチャリティ販売

千葉県内最大級の花のイベント、生産者も自ら運営へ

花き産出額186億円で全国2位(27年農水省)を誇る花の一大産地・千葉県における県内最大級の花のイベントとなる「千葉県フラワーフェスティバル」は、年1回開催される県域の花の共進会が元となりスタートしたもので、現在ではそれに加えて様々なフラワーイベント等が行われ、フェスティバルの名のとおり誰もが「千葉の花を楽しむ」ことができるイベントとなっています。

このイベントの運営には、主催の構成団体である千葉県花き園芸組合連合会から多くの生産者が参加しており、県や市、園芸協会の担当者とともに生産者自らが県内の花業界を盛り上げる活動に取り組んでいます。本県においても一部地域では生産者が主体的に花のイベントに取り組んでますが、今回の取組については関係団体が連携した優良な先進事例として見習うべきと考えます。